済生会兵庫県病院 健康ニュース

なでしこ

Heart in Heart



〒651-1302 神戸市北区藤原台中町5丁目1番1号 TEL. 078-987-2222

URL. http://saiseikai.info

2017年11月発行 VOI.53



トピックス

- 新任医師のご紹介
- 救急功労者表彰を受けました

特集①

乳がんと 治療方法について

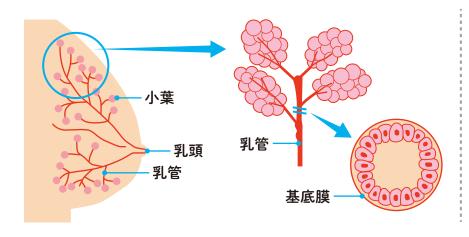


副院長 兼 がんセンター長/廣吉 基己

1. 乳がんとは

乳がんとは、乳房の中にある「乳腺」という母乳を出す器官にできる、悪性の腫瘍です。

乳房のなかにある乳腺は、母乳をつくる部分(小葉といいます)と、母乳を乳首まで運ぶ管(乳管)に分かれています。これらの組織に発生する腫瘍のうち、悪性のものが「乳がん」です。乳癌の約90%は乳管から発生し、がん細胞が、小葉や乳管のなかにとどまっているがんを「非浸潤性乳がん」、外にでて、周囲に広がったがんを「浸潤性乳がん」と呼びます。多くの乳がんは浸潤性乳がんです。乳がんはゆっくり進行するがんですが、放置しておけば乳腺の外までがん細胞が増殖し、血液やリンパ管を通って全身に広がっていきます。



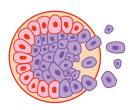
非浸潤性乳管がん

乳管の中にだけ がんが存在する



浸潤性 乳管がん

乳管をやぶり 周辺組織まで 広がっていく



2. 治療方針を決める検査



基本的には「問診 → 視触診 → 画像検査 → 病理検査(細胞診または組織診)」

を行い結果を総合して確定診断、治療方針を決めます。 ※検査は年齢や症状により変わる可能性があります。

乳がん検査

診 問

血縁者のがん既往歴等や、しこりの状態について質問します。

視触診

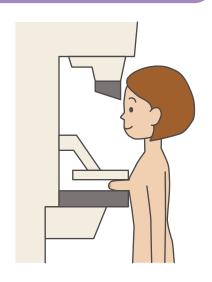
乳房全体を目で見て手で触れ、乳房の形や皮膚・乳頭・乳輪に異常がないか、しこりがあるかどうかを診察する方法 で基本的な検査です。

マンモグラフィー

マンモグラフィーは、触診では見つけることができない小さなしこりや石灰 した乳がんを見つけることができる乳房専用のX線検査です。ただし、石灰化 があったとしても、必ずしもがんというわけではありません。撮影は、乳房を圧 迫板というプラスチックの板で撮影台に押さえて、上下左右それぞれ2方向か ら撮影します。乳房は、脂肪組織と乳腺組織から構成され、マンモグラフィーで は脂肪組織の部分が黒く、乳腺組織やしこりは白く写ります。40歳以下の若い 人は乳腺が発達しているため全体が白く写り、しこりが隠れて見えないことが あります。その場合は超音波検査(エコー)も行います。(超音波検査のみの場 合もあります。)



※制汗剤やパウダーなどをつけていると、白い粒(石灰化)として写り、がんと間違えることも あるので、必ずふき取っておきましょう。



超音波検査(エコー)

しこりがあるかないかを判別し、形などから良性か悪性かを判断 することができます。超音波を送り乳房内部から返ってくる音波の変 化をコンピューターで画像に変換して断面図を見ます。安全かつ容 易に行える検査です。エコーは放射線被爆がないため妊娠中の方で も受けられます。40歳以下の若い人(乳腺の多い人)、乳房に痛み や炎症がありマンモグラフィーができない人、頻繁に検査を受ける 人に適しています。ただし、精密検査においてはマンモグラフィーと エコーを行うことが通常となっています。



3. 標準治療

乳がんの治療には、手術などの外科療法、ホルモン剤や抗がん剤などの薬物療法、放射線療法などがあります。

実際に個々の患者さんで治療方針を決める際は、それらの中から適切な治療を組み合わせて決めていきます。ひとむかし前までは、担当医や各施設が独自のやり方で治療法を決めることも少なくありませんでした。ただ最近では乳がん治療の研究が進んだ結果、「この状態の患者さんには、この治療とあの治療を組み合わせて行うのが乳がんの治療を行う上で最善の方法である」ということがいえるようになってきました。このように専門家が世界中の研究の成果を集めて、有効性と安全性を確認し、現時点で最善の治療として合意したものが「標準治療」です。乳がんの性質や進行度、患者さんの年齢や身体状況によっても、標準治療は異なります。

乳がんの分野では数多くの臨床試験が全世界で行われており、毎年国内外で開催される学会で多くの研究 結果が報告されています。

乳がん関連ガイドラインは、和訳されたものを「日本乳がん情報ネットワークのホームページ」で閲覧することができます。(http://www.jccnb.net/)

また、日本人向けの標準治療を提示した日本乳癌学会の「乳癌診療ガイドライン」もあります。

(http://jbcs.gr.jp/guidline/)

当院でも乳がんと診断された場合は、標準治療に基づいた 治療方針を提示し、患者さん、ご家族と相談しながら患者さん ごとに最適な治療方法を決めていきます。

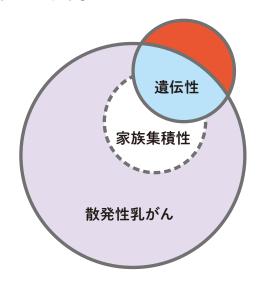


4. がんの遺伝

乳がんや卵巣がんの約10%は「遺伝性のがん」と考えられています。

乳がんのすべてが遺伝性というわけではありませんが、もし遺伝性の乳がんなら、治療法や手術後の検査、乳がんを発症していない子供さんの検診方法なども変わってきます。遺伝性の乳がんでは手術の術式も違ってきますし、遺伝性乳がんの患者さんは卵巣がんにもなりやすく、対側の乳がんになる確率も高くなります。遺伝性のがんだとわかることでできる選択肢が広がります。がんで命をおとさないためにできることがあります。若くして乳がんを発症された患者さん、トリプルネガティブ乳がん(※1)の患者さん、おひとりで2個以上の原発性乳がん患者さん、血縁者に2人以上の乳がん・卵巣がん、または膵臓がんの方がおられる患者さん、それらの方は専門家による評価が勧められています。

※1 乳がんによくある3種類のたんぱく質が存在しないもの



当院では遺伝性のがんに対するカウンセリングと遺伝子検査も受けることが可能です。希望される方は遠慮なく当院外科外来のスタッフへお声かけください。遺伝性乳がんは適切な対応により、あなたやあなたの家族の命を守ることができる可能性があります。簡単なパンフレットも用意しています。ご心配な方は、いつでもご相談ください。

乳がん遺伝子検査の費用等については、当院ホームページ に掲載しております。

(http://saiseikai.info/reception/ambulatory/breastcancer/)

遺伝子カウンセリング外来(乳がん) ページはコチラ





乳がんについてFAQ



- Q 乳がんの原因は?リスク要因にはどんなものがあるの?
- 乳がんの発症に関与している因子として出産、授乳、食生活、良性乳腺疾患などの他に、家族歴が知られています。例えば、お母さんや姉妹が乳がんになった方は、一般の人と比べて2~4倍乳がんになるリスクが高いと言われています。
- Q 乳がんの遺伝要因って?乳がんは遺伝するの?
- 「BRCA1遺伝子」と「BRCA2遺伝子」の変異を生まれつき持っていると乳がんだけでなく、卵巣がんなどにもなりやすいことが分かっています。
- 当院では、平成27年11月より乳がんに関する様々なご相談をお受けする「遺伝子カウンセリング外来」を開設しました。遺伝性の乳がんや遺伝子検査、ご家族(血縁者)のことについて医師や専門の看護師にご相談頂けます。

また、ひとりひとりに合った治療方法、検診などについてご相談をお受けします。

最後に

乳がんの患者さんは年々増加しており、一生のうちにおよそ12人にひとりが乳がんと診断されています。乳がんは決してめずらしい病気ではありませんが、しっかり治療すれば治す(根治する)ことも可能な病気です。そのためには早期発見が大切です。乳がんは自分で発見することができる病気です。月に1回の自己検診と、2年おきのマンモグラフィー検査を国もすすめています。各市町村では2年に1回マンモグラフィー検診の補助を出しているところが多いので、そのような機会にぜひマンモグラフィー検診を受けてください。また、ご自分でも月に一度の自己検診を早速はじめてください。

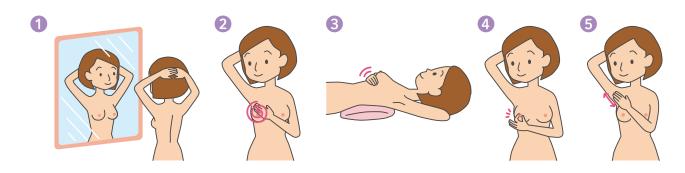
乳がん自己検診

乳がん看護認定看護師/加藤 由子



乳がんは自分で発見できる数少ない癌の一つであり、自己検診が大切です。月に一度は自己検診を行ってください。40歳以上の方は2年に1回マンモグラフィー検診も受けましょう。

自己検診方法



- ・ 鏡に向かい、乳房の変形や左右さがないかをチェックしましょう。
- ② 渦を書くように手を動かして、指で乳房にしこりがないかチェックしましょう。 入浴時に石鹸をつけて指の腹を滑らすようにさわりましょう。
- ③ 仰向けになって外側から内側へ指を滑らせ、しこりの有無をチェックしましょう。 肩の下に薄いクッションなどを敷くと調べやすくなります。
- 4 乳頭をつまんで分泌物がないかチェックしましょう。
- 5 わきの下も、しこりの有無をチェックしましょう。





渦巻き式

平行線式

実施時期

- 閉経前の人は、月経終了後1週間くらいの間に行いましょう。 (排卵から月経終了までは乳房が張るため)
- 閉経後の人は、毎月日にちを決めて行いましょう



異常があった場合

引きつれ、くぼみ、ただれ、左右差、血液混じりや膿のような分泌物などがあった場合は外科または乳腺外科を受診してください。

病院ボランティア募集

① 外来ボランティア

②病棟ボランティア

- その他
- ◆ ボランティア保険加入
- 昼食•交诵費支給
- ◆健康診断(無料年1回実施)
- ◆ インフルエンザ予防接種(半額補助)

お問合せ 総務課(2階) ※詳細は、お問合せ下さい。

小児科短期入所サービス (ショートステイ)について

寝たきりで経管栄養の重症心身障害児(15歳未 満)を対象に、小児科病棟で短期入所サービスを行っ ています。ご家族の休養(レスパイト)、ご兄弟の学校行 事などの場合に、短期間ですが当院でお預かりし、日 常生活の支援を提供いたします。ご利用にあたっては、 事前登録が必要です。まずはお電話で相談下さい。

お問合せ:医療福祉事業室(1階 11番)

相談窓口のご案内

当院では、経済的な理由により医 療(受診)を受けることが出来ない 方々に対し、無料または、低額で診 療を行う無料低額診療事業を行っ ています。

また、医療ソーシャルワーカー (MSW)による相談も承っておりま すので、介護や退院後の生活などに ついてもご相談下さい。

医療福祉事業室(1階 11番)

余らゃんにやきしい病院で出産しませんか?

出産において最も大切なのは母子の安全です。当院は、妊娠中にバー スプランを書いて頂き、助産師と面談を行っています。バースプランは、生 まれてくる赤ちゃんのことを考えて、お母さんのお産を乗り越えていく力、 家族が増えることに対する考えをお伺いし整理します。

お母さんの産む力、赤ちゃんの生まれてくる力を最大限に発揮し、あな たらしいお産を当院で経験してみませんか。待ちに待った赤ちゃんとの生 活、安心して退院できるようにしっかりサポートさせていただきます。退 院後も赤ちゃんとの生活の不安が解消されるまで母乳外来でお手伝い させていただきます。災害時も当院で可能な支援をさせて頂きますので、 お困りのことがありましたらお尋ねください。

お問合せ:母子センター(6階)

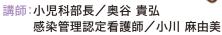
()

※ 質疑応答の時間もあります。

11月14日(火) 13:45~14:45



インフルエンザについて 🥉





12月16日(±) 10:00~11:00



育児の今昔物語 ~抱きぐせがつくって本当?~





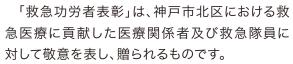
1月27日(土) 10:00~11:00



胃がん・大腸がんの内視鏡治療

講師:内科医長/林 賢一

当院の看護師が 「救急功労者」として 表彰されました



当院の外来看護師主任 関 美恵子がこの名誉 ある賞を受賞し、平成29年9月21日に神戸市で 授与式が行われました。





新任医師のご紹介

はじめまして!



循環器内科医長 木村 紀之

本年9月1日より内科で勤務させて頂いております。出身は大阪で、これまで兵庫県や 大阪府で勤務し、内科の中でも特に、狭心症・心筋梗塞や心不全、不整脈、閉塞性動脈 硬化症、下肢静脈血栓症・肺塞栓症などの循環器疾患の診療に携わってきました。皆様 のお役に立てるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いします。





外科医長 谷孝文

神戸大学医学部平成20年卒業の谷孝文と申します。神戸大学肝胆膵外科に所属し ております。専門は消化器外科です。山本院長先生はじめ、外科の先生方にご指導いた だき、皆様に貢献出来ますよう一所懸命に頑張ってまいります。



呼吸器外科部長 伊藤 則正

呼吸器外科 伊藤則正と申します。現在25年目になります。大阪の近畿中央胸部疾患センターで7年間勤 務後、松江医療センターで3年間勤務しております。呼吸器外科領域全般、特に肺癌、気胸、呼吸器感染症、 縦隔、胸壁疾患の手術療法が得意分野です。呼吸器外科 富山部長とともに患者さんへ安全、安心な呼吸器 外科診療を提供できるよう微力ながら努力して参りますのでご支援を賜りますようよろしくお願いします。





信頼・安心の医療の提供

- * 患者の立場に立った医療、患者の満足する医療を追求する。
- * 地域中核病院として分担すべき役割や機能を明確にし、連携を通して地域医療に貢献する。
- * チーム医療を推進し、医療の質を向上する。
- * 予防からリハ、社会復帰までの全人的な包括医療を推進する。
- *職員各自互いを尊重し、切磋琢磨して、「誇りの持てる職場づくり」に努める。
- * 医療を通じて社会に貢献する。



社会福祉法人

恩赐 済生会兵庫県病院 | TEL. U/8-98/-

〒651-1302 兵庫県神戸市北区藤原台中町5丁目1番1号

TEL. 078-987-2222(代表)

診療受付時間 8:30~11:30 月曜日~金曜日

休 診 日 土曜日・日曜日・祝日・年末年始

★病院⇔岡場駅間の無料送迎バスも運行しております。(休診日を除く)

発行所/済生会兵庫県病院 編集長/尾古 俊哉 編 集/広報委員会